

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業437社を対象に実施し、404社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成19年4月～6月の実績、平成19年7月～9月の見込み、平成19年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成19年6月下旬

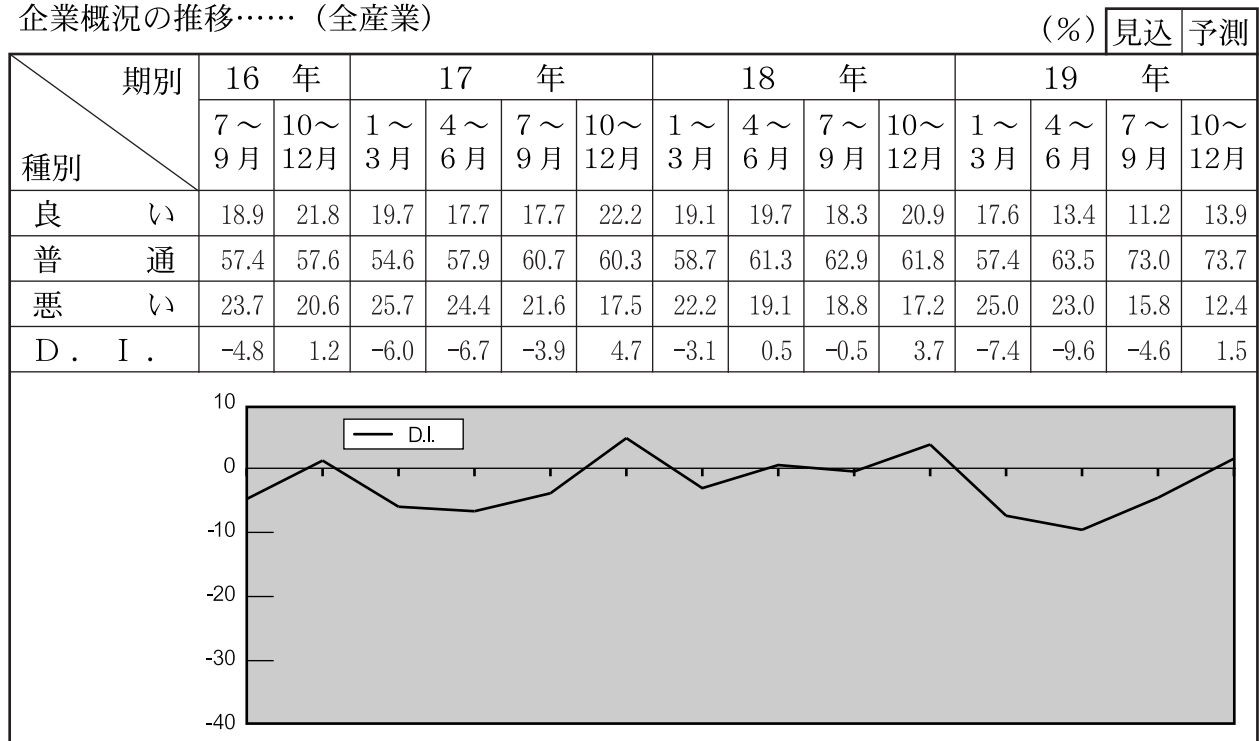
	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	205	191	93.2%
非 製 造 業	232	213	91.8%
計	437	404	92.4%

日銀が7月13日に公表した金融経済月報（基本的見解2007年7月）によると、現状の景気判断について、「わが国の景気は、穏やかに拡大している」とし、先行きについても「景気は穏やかな拡大を続けるとみられる。」としている。

すなわち、「輸出は、海外経済の拡大を背景に、増加を続けていくとみられる。また、国内民間需要も、高水準の企業収益や雇用者所得の緩やかな増加を背景に、引き続き増加していく可能性が高い。こうした内外需要の増加を反映して、生産も増加基調をたどるとみられる。この間、公共投資は減少基調を続けると考えられる。」として、景気は穏やかな拡大を続けるとしている。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

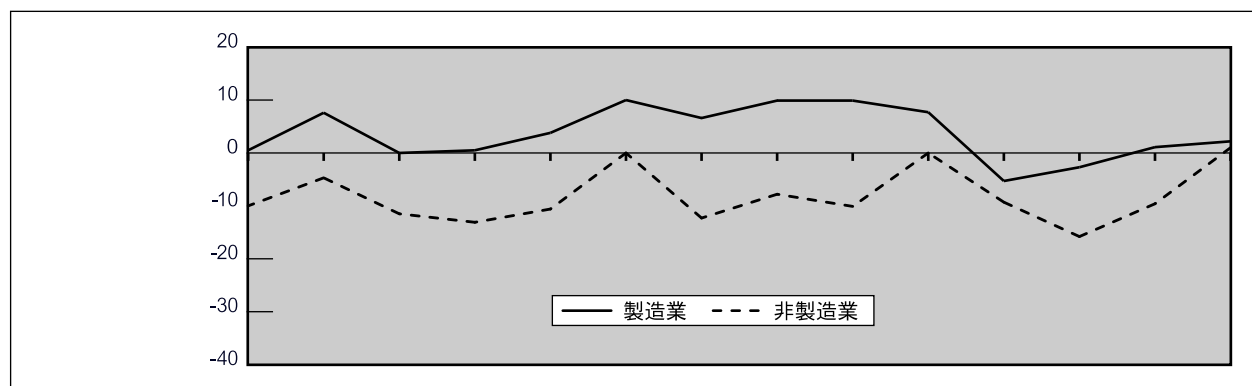


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）												見込	予測
		16年		17年				18年				19年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	19.8	25.4	22.6	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	14.1	13.4
普	通	60.9	56.9	54.9	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	73.0	75.3
悪	い	19.3	17.8	22.6	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	13.0	11.3
D. I.		0.5	7.6	0.0	0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	1.1	2.2

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）												見込	予測
		16年		17年				18年				19年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	18.0	18.5	17.1	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	8.7	14.4
普	通	54.0	58.3	54.4	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	73.1	72.2
悪	い	28.0	23.2	28.6	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	18.3	13.4
D. I.		-10.0	-4.7	-11.5	-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-9.6	1.0



(1) こうした全国の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数 D.I.「良い－悪い」は、19年4～6月期実績は▲9.6と前期比2.2ポイント悪化した。

先行きについて、19年7～9月期のD.I.は、前期比5.0ポイント改善する見込となっているが、ポイントはマイナスであり、前年同期比に比べポイントも低い。

(2) 業況判断指数D.I.の19年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より2.6ポイント改善となった。非製造業は前期より更に6.5ポイント悪化している。

先行きについてのD.I.は全業種で、改善見込みであるが、非製造業については、まだマイナスポイントの見込みとなっている。

製造業の業況判断指数D.I.は前期に、先行きの19年4～6月期を5.3、7～9月期を8.5と予想していたが、4～6月は▲2.7、7～9月は1.1とポイントは低く、予想より低い状況となった。非製造業の業況判断指数D.I.についても、19年4～6月期は▲15.8でありマイナスが続いている。7～9月の先行きもマイナスの見込となっている。